

「くすりのきほんの「き」～向精神病薬の分類と副作用～」

薬＝くすり→「リスク」がある！ 正しい情報、正しい使い方、安全な品質、
等が重要！

① 薬の効き方

薬を服用→胃・腸で分解、吸収→肝臓で処理→血液へ→全身(患部)

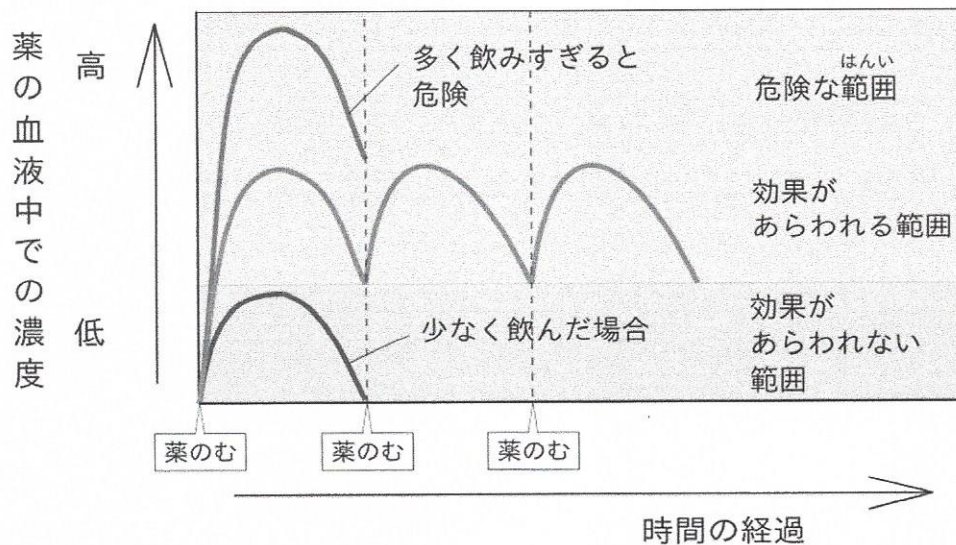
肝臓・腸で薬を分解

② 効果

原因療法・・・体内で病気の原因の細菌に対する作用(抗生物質)

対処療法・・・人間の体が持っている機能を利用し症状改善させる
(鎮痛剤、花粉症(アレルギー剤))

③ 薬の服薬回数と血中濃度



④ 薬の排泄

腎臓 → 尿
肝臓で分解 → 胆汁に混じり便

他排泄…息、汗、唾液、母乳

Q: 1日1回の薬を3回に分けて飲むのは効果的か? 3回

問1. 薬の〇×クイズ!

- Q1. (○) 薬にはリスクがある
- Q2. (×) 飲み忘れた薬を2回分まとめて飲んだ
- Q3. (×) たくさん飲めば、それだけ効果が高まる
- Q4. (×) 薬はジュースで飲んでもよい 水・ぬるま湯
薬は水は効果半減の可能性がある
- Q5. (×) 自分が処方された薬をきちんと説明して親にあげた
- Q6. (×) 座薬はきちんと座って飲む薬である
- Q7. (×) 食間服用は食事中の間のことである
- Q8. (×) 錠剤、カプセルは噛んで飲んでもよい
- Q9. (×) 処方された頓服薬は、きちんと最後まで飲む
- Q10. (×) 大人の薬は18歳以上からである
15歳以上の大人

問2. 飲み合わせクイズ

下の語群から選択してください

- 血圧の薬(一部のカルシウム拮抗剤) —— (グレープフルーツ)
- 総合感冒薬 (アセトアミノ酸) —— (コーラ、コーラ) + カフェインは ×
- ワルファリン(血液をサラサラにする薬) —— (納豆、青汁) ビタミンKは逆効果
- 睡眠薬 —— (ミルコール)
- 抗生物質、抗菌薬 —— (~~牛乳~~、牛乳、ヨーグルト) (ヨーグルトは作用を弱める)
- 胃薬 —— (炭酸、コーラ)

語群	アルコール コーラー コーヒー 牛乳 炭酸飲料 納豆 ヨーグルト 青汁 グレープフルーツジュース
----	-----------------------------------------------------

抗うつ薬

セロトニン
SSRI
SNRI
NaSSa

分類	一般名	商品名	副作用	
三環系抗うつ薬	クロミプラミン	アフラニール	抑うつ効果あり 及ぶ副作用あり 抗コリン作用	口渇 便秘 眠気 尿閉(排尿困難) せん妄 めまい 体重増加
	アミトリプチリン イミプラミン	トリプタノール トフラニール		
四環系抗うつ薬	マプロチリン ミアンセリン セチプロリン	ルゾオミール テトラミド テシプロール		
SSRI (選択的セロトニン再取り込み阻害薬)	フルボキサミン パロキセチン セルトラリン エシタロプラム	ルボックス、デプロメル パキシル ジェゾロフト レクサプロ	消化器症状 (服薬初期)	悪心、吐き気 嘔吐 下痢 性機能障害
	SNRI (セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬)	ミルタピラン デュロキセチン	トレドミン サインバルタ	セロトニン再取り込み阻害作用 賦活症候群
NaSSa (ノルアドレナリン・セロトニン動作性抗うつ薬)	ミルタザピン	リフレックス、レメロン (お薬手帳)		眠気 体重増加

抗コリン作用	口渇、便秘、眠気、尿閉、せん妄、目のかすみ、眼圧上昇 緑内障に注意!
セロトニン症候群	頻脈、発汗、下痢、反射の亢進、自律神経系の異常や錯乱、興奮などの精神症状
セロトニン再取り込み阻害作用	消化管のセロトニン受容体に対する作用のため、 悪心、吐き気 などが 服薬初期 におこる。性機能障害の副作用も現れるときがある。
賦活症候群 (アキチベーション・シンドローム)	SSRI や SNRI の投与初期や増量期に起こりやすく、不安、焦燥、不眠、衝動性、易刺激性、アガリア、パニック発作などを呈する。

まろ
 精神薬
 抗精神病薬

1/3

向精神病薬の分類と副作用

抗精神病薬 (主に統合失調症(陽性症状に有効)に使用)

精神薬

分類	一般名	商品名	副作用
定型抗精神病薬 (ドーパミン受容体遮断薬) 強い症状を伴う	フェチアジン系	クロナゾリン レボメフェチアジン プロメチアジン	ウインタミン、コンミン ヒルナミン、レボトミン ニューレプチル
	ブチロフェノン系	ハロペリドール チメロン プロムペリドール	ゼネクス トロロン インプロモン
	ペンサアミド系	スルピリド スルトプリド チアプリド ネモプリド	ドグマチール、ミラ ドール、アピリト バルネチール グラマリール エミレス
非定型抗精神病薬 (新薬) 3/4/10	S D A (セロトニン・ドーパミン遮断薬)	リスパリトン ペロスピロン プロナセリン	リスパダール ルーラン ロナセン
	M A R T A (多元受容体作用抗精神病薬)	オランザピン クエチアピン クロザピン	ジプレキサ → 高血糖 セクエル → 高血糖 クロザリル → 白血球減少、無顆粒球症
	D S S (ドーパミン受容体部分作動薬)	アリピプラゾール	エリリアイ(新しい) エチオコリン

錐体外路症状	パーキンソン症状	振戦、筋固縮、姿勢不安定、仮面様顔貌、動作緩慢など
	ジストニア	筋肉の痙縮による斜頸、舌突出など
	アカジア	下肢のソワソワ感、足踏み、じっとしてられないなど
	遅発性ジスキネジア	口をモグモグさせる、手足が勝手に動く不随意運動
悪性症候群	高熱、筋硬直、振戦、発汗、頻脈、意識障害、高CPK血症	
高プロラクチン血症	プロラクチンと呼ばれるホルモンの血液中での異常な高値を示す病気。 出産とは関係ないタイミングでの乳汁分泌、月経不順など	

速い? 可なり早く入割.

抗不安薬・睡眠薬

分類	一般名	商品名	作用時間	副作用
ベンゾジアゼピン系	ジアゼパム アルプラザラム エチゾラム	セルシ ソラナックス デパス	長時間型 中間型 短時間型	眠気、めまい、覚醒と集中力の欠如、奇異反応、 長期服用での身体依存・耐性 服薬中断で反跳性不眠
非ベンゾジアゼピン系	ゾルピデム ゾピクロン	マイスリー アモバン	超短時間型 超短時間型	
GABA受容体拮抗薬	ラメルテオン	ロゼレム	超短時間型	めまい、頭痛、眠気、倦怠感、ブロカチン上昇
5-HT _{2A} 受容体拮抗薬	スボレキサント	ベルソムラ	その他	傾眠、頭痛、疲労感

近アマイシ!!!
副作用の眠り

気分安定薬（躁病や双極性障害の躁状態に処方）

分類	一般名	商品名	副作用
	炭酸リチウム	リーマス	甲状腺機能低下、腎機能障害、手指振戦、吐き気、軟便

抗てんかん薬（気分安定薬と併用）

分類	一般名	商品名	副作用
全般発作第一選択薬	バルプロ酸ナトリウム	デパケン	吐き気、めまい、ふらつき、 発疹、顆粒球減少、認知機能障害
部分発作第一選択薬	カルバマゼピン	テグレトール	

中枢神経刺激薬（ナルコレプシー、ADHDに処方）

分類	一般名	商品名	副作用
	メチルフェニデート塩酸塩	リタリン、コンサータ ストラテラ	不眠傾向、食欲低下、口渇、頭痛 (副作用 3/4/5/6/7/8/9)

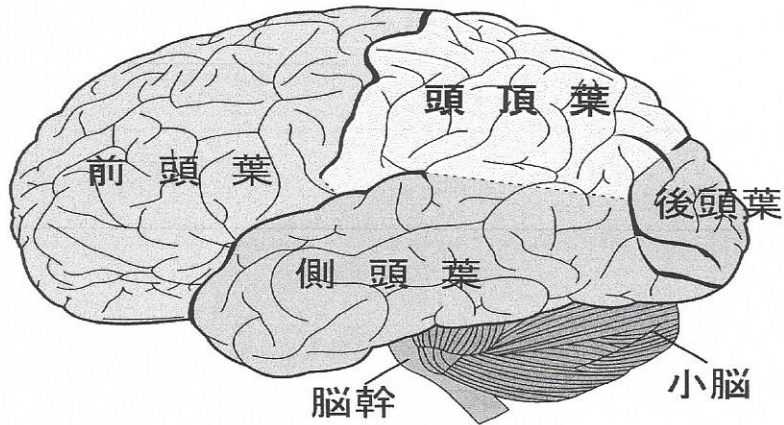
抗認知症薬

分類	一般名	商品名	副作用
アセチルコリンエステラーゼ阻害薬	ドネペジル ガラントミン リバスチグミン	アリセプト レニミール リバスタッチ、イクセロン	眠気、めまい、覚醒と集中力の欠如、奇異反応など
NMDA受容体拮抗薬	メマンチン	メマリ-	

処方箋 10/22

ベンゾジアゼピン系	鎮静(催眠)作用、抗不安作用、抗けいれん作用、筋弛緩作用
非ベンゾジアゼピン系	筋弛緩作用を弱くして、ふらつきや転倒リスクを低くした
ナルコレプシー	過眠症(居眠り病)、日中において場所や状況を選ばず起こる強い眠気発作を症状とする睡眠障害
カタプレキシー	情動性脱力発作 笑ったり、怒ったり、驚いたりしたときに倒れたり、首やひざの力が抜けたりすること

・ 脳の構造



脳葉名	作用	障害による症状
前頭葉	運動機能に関与	運動性言語中枢（ブローカー中枢）の障害により運動失語となる
	意思や意欲の統合	前頭葉症候群では自発性低下や抑制欠如（脱抑制）などの症状や遂行機能障害が現れる
頭頂葉	感覚情報の統合 身体や空間の認知	失行
側頭葉	判断と記憶の統合 言語理解	情動障害 感覚性言語中枢（ウェルニッケ中枢）が障害されると感覚失語となる
後頭葉	視覚の統合	視覚失認
辺縁系（扁桃体・海馬を含む部位）	感情の表出 自律神経の統合記憶	うつ 自律神経系の障害 記憶の障害

